

授業概要

大学での勉強は、高校までと違って、教員が初めから正解を教えてくれるわけではありません。大学では、考えるべき問題を決めるのも、そこから答えを導き出すのも、基本的に自分の力で行わなければなりません。考えるための様々な方法や道筋はそれぞれの授業で学んでいきますが、大学でのより充実した学習の土台となる〈ノートにまとめる力〉、〈言葉を使いこなす力〉や〈考えをまとめ発展させる力〉を、本演習で基礎から身につけていきます。

授業計画

全 15 回の授業回数の中かで下表の内容について学びます。

目的	主な学習内容
「大学生活に慣れる」	○各履修計画の立案 ○授業形態・諸制度（免許・資格取得の流れ）・設備等の説明 ○大学生としてのマナー
「ゼミに慣れる」	○自己紹介 PR・インタビューなど
「聞き取って書く」 「読んでまとめる」	○ノートのとり方を学ぶ ○文章を読み、単元や段落・章ごとに区切り、内容について話題として取り上げ、意見交換を交えながら読み進む。 ○読んだ資料について、示されたいくつかの項目を文章にまとめる。
「調べる」	○図書館ツアーの実施、ネット検索などの方法を学ぶ。 ○与えられたいくつかのテーマについて内容を調べる。
「意見を話す」 「意見を書く」	○特定のテーマ・話題について、各自の意見を発表する。 例・テーマを示す→テーマの内容について調べ、考える→自分の意見を発表する→発表された意見について議論する→議論を踏まえて文章にしてみる。
「総まとめ」	○学期を振り返り、学習面や生活面についての自己評価を行う。

※学外活動を行う場合があります。

※演習を通じて、漢字を含めた日本語表現学習を行います。

到達目標

- ・課題について自身の考えを言葉や文章で発表・報告することが出来る。
- ・資料収集と調査結果のまとめ方が理解できる。

履修上の注意

1 年次の学生は全員履修します。4 年間の大学生活を実り豊かに過ごすための、知的基礎体力を初歩から鍛えるプログラムです。自分で考え判断する力を磨き、充実した人生を切り拓く基盤づくりにもなります。休まず積極的に受講して、同級生や先生と交流を深めてください。

予習復習

本演習では、漢字を含めた日本語表現学習をはじめとした基礎学力の向上を図るための学習を行います。したがって、学習内容をしっかり予習復習することは、より充実した大学生活へとつながります。

評価方法

まとめテストや平常点(授業内の作業に積極的に参加し、課題をきちんと提出しているかどうか)などで判定します。

テキスト

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社。
さらに他のテキストは各授業担当者が初回の授業で指示します。